

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立足守中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 701 - 1462
岡山県岡山市北区大井360番地

E-mail : ashimoric@city.okayama.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 99 名 女子 76 名 合計 175 名
 児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

- ① 主体的に学ぶ力の育成と社会的スキルの習得（中学校1年～3年）
- ・全ての授業において「協同学習」を取り入れることで、生徒の主体性・協同性、他者を尊重する民主的な態度、仲間と共に問題解決に向かう技能、コミュニケーション能力を育成する。
 - ・「ライフスキルトレーニング」(LST)による社会的な生き方（意思決定・問題解決・創造的思考・クリティカル思考・効果的コミュニケーション・対人関係・自己認識・共感性・メディアリテラシー等の力）を育成する。
- （山陽学園大学准教授 富岡美佳先生）（各学年6時間）

- ② 教科での学習
- ・関連する単元を「関係図」として作成し、それをもとに教師が意識的に指導する。

- ③ 体験学習
- ・福祉体験学習（1年）：近隣の老人ホームでの体験学習。地域の高齢化の実態を知る。
 - ・職場体験学習（2年）：地域の職場とその現状を知る。

- ④ 1学年の「地域再発見学習」（約8時間）
- 5月・・・各小学校で学んできた内容を調査、
テーマの設定
活動計画の作成
 - 6月・・・調査活動の整理とまとめ
発表資料の作成
足守地域再発見学習発表会



- ⑤ 3学年の「地域学習」（約15時間）
- 1学期・・・テーマの設定、調査計画の作成
 - 夏季休業中・・・調査、資料収集と整理
 - 2学期・・・
 - ・調査と資料の整理の補充
 - ・提言内容をまとめ、提言書を作成
 - ・地域学習発表会にて、地域行政等に対して提言
 - ・有識者等からの講評とそれをふまえた振り返り、および次年度以降への引き継ぎ
 - ・生活における実践

⑥ 3年生の地域学習発表会 平成25年10月18日（金）14:00～16:00

○提言内容（学年代表6グループ）

【自然・環境】「川の水質と農業への影響」

【生活・産業・福祉】「B級グルメを作ろう！」「祭りと花火を通して“福谷”を知ってもらおう!!」「足守の観光スポットを全国に広めよう!!」
「銀色の宝石に魔法をかけて」

【歴史・文化】「絵本で広めよう足守」

○来賓の方（足守公民館長、足守地域センター所長、各連合町内会長、岡山西商工会足守支所支援課長・総務課長、岡山市福祉交流プラザ大井館長、近水観光振興会、地域協働学校運営協議会長、地域コーディネーター、岡山市ESD世界会議推進局）

○使用した器具等

パソコン、パワーポイントソフト、模造紙、画用紙、印刷機器、プロジェクター

(4) 代表的な提言の紹介

テーマ：「銀色の宝石に魔法をかけて」

提言：“足守産のお米を用いたスイーツを足守の新しい特産物にする” 田んぼの多い足守地区で作られるお米（銀色の宝石）にひと手間加えて（魔法をかけて）足守の新



しい特産物に変身させます。「安い、おいしい！見た目よし！リピートあり！」をモットーに作った米粉スイーツをたくさんの人に食べていただきたいと思い、試作品を作りました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）